

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表平8-510396

(43) 公表日 平成8年(1996)11月5日

(51) Int. Cl. <sup>8</sup>	識別記号	庁内整理番号	FI
A 6 1 B	5/0408	7638-2J	A 6 1 B 5/04
	5/0478	7507-4C	17/39
	5/0492		
	17/39		

審査請求 有 予備審査請求 有 (全 18 頁)

(21) 出願番号 特願平6-524549  
 (86) (22) 出願日 平成6年(1994)4月28日  
 (85) 優先文提出日 平成7年(1995)10月25日  
 (86) 国際出願番号 PCT/US94/04699  
 (87) 国際公開番号 WO94/24930  
 (87) 国際公開日 平成6年(1994)11月10日  
 (91) 優先権主張番号 08/055,194  
 (32) 優先日 1993年4月28日  
 (33) 優先権主張国 米国 (US)  
 (81) 指定国 EP (AT, BE, CH, DE, DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, M C, NL, PT, SE), JP

(71) 出願人 ウェブスター、ウィルトン ダブリュ、ジュニア  
 アメリカ合衆国、カリフォルニア 91001, アルタデナ、クレスト ドライブ 1388  
 (72) 発明者 ウェブスター、ウィルトン ダブリュ、ジュニア  
 アメリカ合衆国、カリフォルニア 91001, アルタデナ、クレスト ドライブ 1388  
 (74) 代理人 弁理士 石田 敬 (外3名)

(54) [発明の名称] プレカール型の先端を有する電気生理学的カテーテル

## (57) [要約]

右上室副電気経路をマッピングするための電極カテーテル (10) は、複合カーブを構成する長い管状カテーテル本体 (11) 及び先端部分 (12) を含んで成る。この複合カーブ面は前記カテーテル本体 (11) の軸に対して横軸方向、そして好ましくは約30°の角度で広がる。この複合カーブは複数の電極 (21) を担持している。引っ張りワイヤー (30) がこのカテーテル本体 (11) を通って先端部分 (12) にまで及んでおり、この引っ張りワイヤー (30) の遠心端はこの先端部分 (12) の遠心端に固着されている。カテーテル本体 (11) に対するこの引っ張りワイヤー (30) の長軸移動をコントロールするためのハンドル (13) がこのカテーテル (10) の近心端に設けられている。カテーテル本体 (11) に対する引っ張りワイヤーの近心移動は、第一屈曲の角度がより鋭角となる、及び先端部分 (12) の概して円形カーブの直径が小さくなることをもたらす。

